

美保湾におけるヒトデの大量発生について

平成27年3月24日
水産課

昨年9月以降、美保湾においてヒトデ（種類：モミジガイ等）が大量発生し、小型底びき網漁業の操業に支障が生じた。

バイ等の貝類が捕食されることによる資源悪化や、漁業操業が困難な状況が続くことが予想されたため、県及び境港市は、漁協が行う駆除活動に対し早急に支援を行った。

1 ヒトデ大量発生の状況

ヒトデの種類	モミジガイ、トゲモミジガイ（鳥取県沿岸の砂泥底に普通に分布）
ヒトデの大きさ	幅長（中心から腕の先まで） 5～10cm 程度
場 所	美保湾内の水深20m以浅 美保湾面積の約8割を占める
発生時期	9月以降に小型底びき網への入網が増加。10月以降は入網が極めて多く曳網が困難な状況。
大量発生の原因	不明

2 漁業への影響

- ・底びき網を1時間30分曳網すると大量（約200kg）のヒトデが入網し、船が止まる。
- ・漁にならず、美保湾内は休漁状態（漁獲量・金額の減少）。
- ・バイの稚貝を捕食するため、バイの漁獲量（小型底びき網漁・バイかご漁）が減少する懸念がある。

3 駆除活動実績

回	駆除操業日	操業隻数	駆除量
1	H26. 11. 27～28	13隻	1,560kg
2	H26. 11. 30～12. 1	9隻	530kg
3	H26. 12. 3～4	11隻	1,250kg
4	H26. 12. 7～8	11隻	1,460kg
5	H26. 12. 8～9	9隻	820kg
6	H26. 12. 10～11	5隻	510kg
7	H26. 12. 12～13	5隻	310kg
8	H27. 1. 8～9	13隻	2,880kg
9	H27. 1. 9～10	13隻	2,340kg
10	H27. 1. 10～11	14隻	2,100kg
合計		103隻	13,760kg

4 県及び境港市による支援について

ヒトデの駆除活動及び廃棄物処理費に対し、県及び境港市が支援を実施。

(1) 予算額

県予算 4,000千円（予備費による支援）

市予算 800千円（他予算を流用）

(2) 県による支援実績額

内容	金額(円)	備考
港に持ち帰ったヒトデの処理費（処理費・運搬費）	275,200	処理会社への支払額（税抜額）。
駆除に係る漁船運航経費	1,430,000	1日当たり10千円を補助。 事業中途から1日当たり20千円を上限とするよう補助制度を変更。
合計	1,705,200	

(3) 境港市による支援概要

内容	金額(円)	備考
駆除に係る漁船運航経費	715,000	県補助単価の半額（1日当たり5千円）を支援。
合計	715,000	

5 駆除状況写真

